

## 「Debian パッケージの作り方 (3) – dpatch の使い方 –」

大浦 真 (ohura@debian.org)

### 1 はじめに

テーマ Debian パッケージの patch 管理システムである dpatch を使ってみる。

素材 hello-debhelper パッケージのソースパッケージ。メッセージを変更する patch を作ってみる。

### 2 Debian パッケージと patch

- Debian のソースパッケージは三つのファイルから出来ている。
  - \*.orig.tar.gz オリジナルのソースアーカイブ。
  - \*.diff.gz オリジナルのソースと Debian ソースパッケージとの間の差分。
  - \*.dsc Debian ソースパッケージの情報。
- debian/ 以下のファイルも含めて、オリジナルとの差分は全て.diff.gz にまとめられるので、Debian 側で patch を複数あてている場合は管理が面倒。
- dpatch を使うと、patch を分割して管理することができる。オリジナルが更新された時の追従も簡単。
- debian/patches/ 以下で patch をまとめて管理。
- 移行に .orig.tar.gz の修正は不要。

### 3 dpatch の使い方

- debian/rules の修正
  - 冒頭に include /usr/share/dpatch/dpatch.make を追加。
  - build ターゲットで patch ターゲットが、clean ターゲットで unpatch ターゲットが実行されるように変更する。

```
#!/usr/bin/make -f
...
include /usr/share/dpatch/dpatch.make
clean: unpatch
...
install: build
...
build: patch
...
```

- debian/control の Build-Depends: に dpatch を追加。

- dpatch-convert-diffgz を使うと .diff.gz の中の debian/\* 以外のファイルに対する patch を抽出できる。
- dpatch-edit-patch で patch を作成。

```
$ dpatch-edit-patch 01_hello_japan
(...自動的に /tmp 以下にコピーが作られ、新しいシェルが起動する。)
(...ソースツリーを修正。)
$ exit
$ (...debian/patches/ 以下に patch ができる。)
```

既存の patch の編集もできる。

- できた patch (上例では、debian/patches/01\_hello\_japan.dpatch) に適当なコメントを書いておく。
- patch を debian/patches/00list に追加。ファイル名の .dpatch を除いた文字列を追加。
- patch がきちんと適用できるかどうかは、fakeroot ./debian/rules patch、fakeroot ./debian/rules unpatch で確認できる。
- dpatch-list-patch で patch の一覧を確認できる。

## 4 類似のシステム

- dbs: オリジナルのソースが .tar.gz の形でそのまま .orig.tar.gz に含まれる。移行には、.orig.tar.gz の修正が必要。
- quilt

## 5 参考文献

- dpatch の利用方法 (<http://www.netfort.gr.jp/~dancer/column/dpatch.html.ja>)
- dpatch(1), dpatch.make(7), /usr/share/doc/dpatch/examples/rules/rules.new.dh.gz
- 「入門 Debian パッケージ」(やまだあきら [著]、鵜飼 文敏 [監修]) 技術評論社 (ISBN-10: 477412768X)